



新正会 齋藤昌秀 議員



## 環境行政について

**問**▶▶▶ ゼロカーボンシティ宣言に伴い、市では、再生可能エネルギーの導入可能性などの調査を今後予定しているとのことですが、その目的および調査内容について伺います。

**答**▶▶▶ 建設環境部長 2050年のゼロカーボンシティの実現を見据えて、地域への再生可能エネルギー導入の道筋を明確にすることを目的とし、調査を行う予定です。

さらには、その再生可能エネルギーの導入を計画的・段階的に進めるため、再生可能エネルギーポテンシャルの調査および将来のエネルギー消費量の目標設定を行う予定です。

**問**▶▶▶ その調査の具体的な内容について伺います。

**答**▶▶▶ 建設環境部長 定量的に試算する項目として、国が公表する各種統計

情報のほか、環境省が公表する「地域経済循環分析ツール」や「自治体排出量カルテ」を活用するなど、自然的・経済的・社会的条件の基礎情報の収集および整理を行うとともに、地域のエネルギー需要および温室効果ガス排出量の把握や将来推計、そして、現実的に導入可能な再生可能エネルギーの導入量を推計するなど、本市における特性を踏まえた課題の分析を行ってまいります。

また、市民や事業者の意向等を踏まえながら、再生可能エネルギー導入に係る将来像や、脱炭素の達成に向けたシナリオ、そして地域の導入目標、さらには目標達成に向けた施策の検討を行います。

## 公園施設等を利用した防災対策について

**問**▶▶▶ さんぶの森公園を、防災公園として整備するための現段階での方向性と、その財源について伺います。

**答**▶▶▶ 総務部長 市長の所信表明において「防災拠点の再整備」として、さんぶの森公園周辺に集まる行政機関が、災害時においても業務継続できるような体制を整備し、災害に強いまちづくりを目指す」と述べています。

令和元年房総半島台風では、風倒木等による電線の切断で、市全体に停電と断水が発生しました。特に、さんぶの森公園を含む山武地域では、停電復旧まで、約2週間を費やすこととなり、長期にわたり、大変不便な生活を強いられました。

このことから、避難所となるさんぶの森中央会館を中心とする地域の災害に対応するための整備が必要であり、長期停電を踏まえ、自前での発電施設、避難が長期化した場合の物資受入のための施設整備、炊事のための水や炊事場所の提供、入浴・洗濯等の支援体制の整備が考えられます。

ただし、これらを防災公園として新たな公園を整備するというものではなく、現存する施設に必要な機能を付加し、さんぶの森公園に「災害拠点としての能力を保持させる」という構想をもとに、整備を進めてまいります。

なお、整備の財源としては、緊急防災・減災事業債や国土強靱化計画の各種事業交付金の活用を見込んでいます。

## 観光行政について

**問**▶▶▶ 今夏、数年ぶりに開設された海水浴場への入込数を伺います。

**答**▶▶▶ 産業振興部長 この夏の市内5か所の海水浴場の入込数の合計は、4万7370人でした。前回、海水浴場を開設した令和元年度は、6万9000人（当時開設していた南浜海水浴場を含む）でしたので、比較すると、2万1630人の減少となっています。

これは、レジャーの在り方・楽しみ方が多様化したことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等によるものと推察します。

**問**▶▶▶ 海岸の効果的な利活用を考えた場合の、本市の課題について伺います。

**答**▶▶▶ 産業振興部長 本市の海岸の利用状況としては、夏季の海水浴はもとより、年間を通じては、サーフィンやカイトサーフィン等のマリンスポーツや釣りを楽しむ方が多く、最近では、愛犬と一緒に散歩を楽しむ方も見受けられます。

市では、海岸での水難事故防止を最優先に考え、地域の皆様と十分に協議を重ね、海岸のより良い利活用の在り方を、今後も探求していきたいと考えます。

